

科目名	助産学実習	12単位 540時間	科目責任者	粕谷 知世
-----	-------	---------------	-------	-------

学習目標

1. 妊娠・分娩・産褥期及び新生児期における助産過程の展開ができる。
2. 妊娠・分娩・産褥期を通して母子のプライマリ・ケアができる。
3. 女性のライフサイクルを考慮した性と生殖をめぐる健康生活への援助ができる。
4. 地域における助産師の役割と活動の実際を理解する。
5. 助産所の経営および助産所助産師の活動の実際を理解する。

各実習科目の学習目標

1. 継続事例実習（産科外来・産科病棟・家庭・小児科外来）
 - 1) 妊婦健康診査を通して妊娠経過のアセスメントができる。
 - 2) 対象に合わせた助産過程を展開し個別的な保健指導ができる。
 - 3) 対象が必要とする出産準備をアセスメントし個別的な援助ができる。
 - 4) 対象の産褥経過および乳児の健康状態をアセスメントし個別的な援助ができる。
2. 分娩期、産褥・新生児期実習（産科病棟）
 - 1) 産婦・褥婦・新生児の健康診査ができる。
 - 2) 助産過程を展開し、対象の経過に応じた分娩各期の個別的な援助ができる。
 - 3) 正常な経過を辿る産婦の分娩介助ができる。
 - 4) 緊急時の助産師の対応が理解できる。
3. NICU実習
 - 1) 治療を必要とする児が出生した原因を考察できる。
 - 2) 児が入院している母親・家族に必要な援助が理解できる。
 - 3) 新生児の治療および救急処置が理解できる。
4. 小児科外来実習
 - 1) 小児科外来を受診する児に対する治療および家族を含めた援助の実際を知る。
 - 2) 各健診を受ける児の成長発達を理解し、健診の実際を知る。
5. 婦人科外来実習
 - 1) 女性の性と生殖の健康生活に影響を及ぼす因子をアセスメントできる。
 - 2) 女性の性と生殖をめぐる健康問題に対して、助産師の果たす役割を考察する。
6. 障害者支援施設実習
 - 1) 障害をもつ人の日常生活を理解する。
 - 2) 障害を持つ人との関わりを通して、助産師の果たす役割を考察する。
7. 地域母子保健実習（市町村保健センター）
 - 1) 地域母子保健サービスの組織と機能および役割を理解する。
 - 2) 地域の特徴を理解し保健医療チームメンバーの協働活動を理解する。
 - 3) 子育て支援の実際を理解する。
8. 助産所
 - 1) 施設・設備・運営・管理の実際を理解する。
 - 2) 妊婦・産婦・褥婦および新生児への助産援助、子育て支援の実際を理解する。
 - 3) 助産所の地域における役割を理解する。

評価方法： 観察法（技術評価）
レポート（実習記録）